

LCMSsolution バージョン 2.04 Supplement Disk 2.04Su3 説明書

(株)島津製作所 分析計測事業部

1. はじめに

このSupplement Disk 2.04Su3 にはLCMSsolution バージョン2.04のアップデートモジュールが含まれています。下記の「アップデート方法」の手順でファイルを更新していただくことでLCMSsolution を最新の環境でご使用していただくことができます。

2. アップデート方法

- (1) はじめに LCMSsolution のアプリケーションをすべて終了させてください。
- (2) フロッピーディスクをお使いの場合は、アップデートディスク 1/3をフロッピードライブに挿入し、フロッピー内の Setup.exe を実行してください。CD-ROM やハードディスク内にアップデートディスクのイメージが展開されている場合は、“DISK1”フォルダ内の Setup.exe を実行してください。セットアップ画面が起動しますので「次へ」ボタンをクリックするとセットアップが開始されます。
- (3) フロッピーディスクをお使いの場合は、画面の指示に従ってフロッピーディスクを交換し、セットアップが終了したらフロッピーディスクを取り出します。アップデートディスクのイメージをお使いの場合は、自動的にセットアップが完了します。
Windows を終了し、PC と MS の電源をいったん切ってください。再度 PC と MS の電源を入れ、Windows を起動してください。
- (4) LCMSsolution を起動させて、「装置」メニューの「診断」を選択してください。診断画面が表示されますので、「ツール」メニューの「プログラムチェック」を選択してください。「プログラムの改ざんチェック」ウィンドウが表示されるので、そこで「実行」ボタンをクリックします。結果が「改ざん無し」と表示されれば完了です。

<ご注意> 本アップデートディスクは LCMSsolution バージョン 2.04 がインストール済みであることが前提になっています。他のバージョンからはアップデートを実施できません。

LCMSsolution Ver2.00(Su1, Su2, Su3)、Ver2.01(Su1)、2.02(Su1)、もしくは2.03をお使いの場合は、先に Ver2.04 にバージョンアップしてください。

以上ご不明な点がございましたら弊社「島津分析コールセンター」までお問い合わせください。
[東京(03)3219-1691 または 京都(075)813-1691]

3. LCMSsolution Ver2.04 Su1 で追加された機能

分類	追加された機能
レポート	スペクトルアイテムのヘッダー情報にグループ番号マクロを追加しました。

4. LCMSsolution Ver2.04 Su1 で修正された不具合の一覧

分類	修正された不具合内容
LCMSsolution メイン	Windows2000 の場合、SCL-10Avp と PC を SCSI で接続できない。
	[ONLY LCMS-2010(A)] MS パラメータに質量数を入力しない SIM グループを作成すると、データ採取実行時にアプリケーションエラーが発生する。
	[ONLY LCMS-2010(A)] MS パラメータ画面で、「フラグメント」ボタンを押してから「詳細」ボタンを選択すると、Q-Array 電圧が0になってしまう。
ポストラン	WindowsNT の場合、まれにスケジュールウィザードでファイル選択ダイアログからファイルを選択できない。
ポストラン	表示スペクトルのライブラリへの登録、もしくはスペクトル処理テーブルからライブラリへの登録を行う際に、登録を行うスペクトルピーク質量数が 1634 以上のものが登録されない。
ポストラン	ポストラン画面から PDA 詳細が起動しない。Ver204 でのみ発生していました。

5. LCMSsolution Ver2.04 Su2 で修正された不具合の一覧

分類	修正された不具合内容
LCMSsolution メイン	[ONLY LCMS-2010(A)] 極性切り替えを使った分析を行うと、高圧電源エラーが表示される場合がある。
	オペレータでログインしているにもかかわらず、終了時に無題のメソッドを保存するかどうかのメッセージが表示される。
	分析中にスケジュール編集を行うと、編集を終了しても次の分析に進まない場合がある。
	PDA 付きのシステムでプロットを行うと、ディスク容量が減る。
ポストラン	PDA のマルチクロマトテーブルで ID#1 のチェックを外してバッチ処理で波形処理を行うと、ピークテーブルが正常に作成されない。
	分析時の MS メソッドパラメータを確認すると、ネブライズガス流量がおかしい。

6. LCMSsolution Ver2.04 Su3 で修正された不具合の一覧

分類	修正された不具合内容
LCMSsolution メイン	分析中に PDA クロマトグラム上をダブルクリックすると、PDA データが正常に保存されない場合がある。
ポストラン	分析終了時にフラクションコレクタが分画していた場合、そのデータの分画マークがクロマトグラム上に描かれない。
	MS スペクトル処理パラメータ画面において、バックグラウンドのアベレージポイント数に大きな値を入れると、検出されるピーク数が多い場合にアプリケーションエラーが発生する。